

整理番号
発送番号 648379
発送日 平成21年10月 2日

拒絶理由通知書

特許出願の番号	特願2004-547413
起案日	平成21年 9月28日
特許庁審査官	國田 正久 9111 2P00
特許出願人代理人	久野 琢也(外 1名) 様
適用条文	第29条第2項

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものです。これについて意見がありましたら、この通知書の発送の日から3か月以内に意見書を提出してください。

理 由

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前に日本国内又は外国において、頒布された下記の特許文献に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記

- ・請求項4～65に対して
引用例1：特表平9-501763号公報
引用例2：特開昭48-36541号公報

本願発明における「熱絶縁材料」とは、本願明細書の【0042】、【0049】の記載からみて、単なる「合成樹脂」を意味すると解されるので、引用例1の「弾性部材」又は「ばね部材」が本願発明の「熱絶縁材料」に相当するものと認める。また、引用例1の「コア2」、「ロールジャケット6」が、それぞれ、本願発明の「基体(17)」、「外周体(19)」に相当する。

さらに、引用例1には、ばね部材4を配置するコア2とロールジャケット6との間の間隙8に、冷却剤を循環することが記載され(6頁13～17行参照)、ロールの印刷機への適用についても示唆されている(3頁3～26行参照)。

よって、引用例1記載の発明と本願請求項4、36、37に係る発明との間に格別の差異はない。

引用例2にも、ロールのコア部分とその外側の外板との間に、エラストマー材料を配置すること、及び、エラストマー材料を注型可能な材料で形成することが記載されており(特許請求の範囲第1項参照)、引用例2記載の発明と本願請求項36及び37に係る発明との間に格別の差異はない。

また、温度調節媒体のための通路をエラストマー材料内に設けることも、当業者にとって容易であるから、本願請求項4に係る発明も引用例2に記載された発明に基づき当業者が容易に為し得ることである。

本願請求項5～35、38～65に係る事項も、当業者にとって適宜為し得る程度の設計上の事項と認める。

<拒絶の理由を発見しない請求項>

請求項1～3に係る発明については、現時点では、拒絶の理由を発見しない。拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

先行技術文献調査結果の記録

・調査した分野 IPC B41F13/22
 B41F31/26

DB名

・先行技術文献

1. 国際公開第01/026903号
2. 特開平01-249449号公報
3. 実願平02-050740号（実開平04-009741号）の
マイクロフィルム

（当該発明の属する技術分野における一般的技術水準を示す文献である。）

この先行技術文献調査結果の記録は拒絶理由を構成するものではありません。

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせ、または面接のご希望がございましたら下記までご連絡下さい。

特許審査第一部 印刷・プリンター 國田 正久
TEL. 03(3581)1101 内線3261 FAX. 03(3580)6902